

















恩納材は、2018年に「サンゴの材宣言」を発表し、2019年に「SDGs未来都市」に選定されました。

豊かな海に育っサンゴは、多種多様で一つとして同じものがありません。同様に、子ども達も一人ひとり違う個性を持った大切な存在です。また、興味や関心、学びのペースも一人ひとり「ちがい」があります。

これまでの学校では、「みんな同じ事を一斉に」が求められてきました。しかし、これからの時代は、企業や組織に多様性が求められるように「ちがい」そのものが「価値」となります。

恩納材では、一人一人のよさや可能性を自ら伸ばしていける、 主体的な学びへの転換を進めていきます。



















本材の課題の一つとして、子どもの数の減少が挙げられます。 10年後、20年後には労働人口の減少につながり、地域活力の 低下が懸念されます。アーサの養殖が風御病から始まったよう に、子ども遺には、持続可能な社会の創り手として、受け身では 念人、主体的。創造的於清理が期待含れます。 このような状況を暗聴え、「予測困難な社会を、人生の主体者 として、幸也に生きる力(自律・協働・創造)を育成支援する」こと を目標とし、恩納施物育ビジョンを競売しました。 幼児教育・小学校教育・中学校教育を通して、「子ども追が、ワ クワク学び人。地域。自然。世界そして表来へつなげる教育」を 展開していき頭する

### 人生の主体者として幸せに生きる力を育成支援する」

エージェンシー

ウェルビーイング

### うんな中学校 学校教育目標

# 自律

自ら考え、判断し、決定し 行動する生徒

### 協働

他者を理解し、協力して 課題に取り組む生徒

### 創造

豊かな発想を持ち創意工夫する生徒

### 小学校教育で育む資質・能力

安富祖小学校 • 恩納小学校 • 仲泊小学校 • 山田小学校

### 幼児教育で育む資質・能力

て主体的に学び続ける

涯

た

イ&エラー経験の積み重ね

恩納幼稚園・仲泊幼稚園・安富祖保育所・恩納保育所・山田保育所・オリーブ保育園・風の森保育園・OIST幼稚園 等

# 自ら考え

自分を成長させる推進力 〇端末を活用した 判 断 決定 個 別最適な学び し行動するカ た自学自習力

- ・自分は成長できる存在
- 他者とのつながりを実感
- 他者や社会に貢献できる
- ・失敗、成功体験から学ぶ 自立した学習者
- エージェンシーの高まり

豊かな発想を持ち 創意工夫する力

OSTEAM教育 〇プログラミング OSDGsプロジェクト

> 〇子供主体の学校行事づくり 〇児童・生徒会活動の充実 等



他者を理解し、協力して課題に取り組む力

教職員と子どもの 心理的安全性·支持的風土

対話の力、自治の力を高める推進力(協働的な学び)

# 「自律」プロジェクト

#主体的な学び

#個別最適な学び

# I C T # 自立した学習者

#自由進度学習

### プロジェクト目標

#### **メンバー** 校務分掌で位置づけ

M

### はじめの一歩トライ&エラー

R6

R7

**R8** 

### 「自由進度学習」

推進プロジェクト

<u>目標:児童生徒が、自ら計画</u> を立て、学習し、振り返ること ができるようにする。

- •校内研主任
- •学力向上推進教諭
- •教科主任
- •学校教育課

- ・小学校:複数学年で 年間1単元で実施
- ・中学校:全教科で 年間1単元で実施
- •山田小学校指定研
- 県内推進校の視察
- ・加賀市との連携

- ・小学校:全学年で 年間1単元で実施
- •中学校:全教科で 年間2単元で実施
- •安富祖小学校指定研
- ・県内推進校の視察
- ・加賀市との連携

- ・小学校:全学年で年間2単元で実施
- ・中学校:全教科で年間3単元で実施
- ・うんな中学校指定研
- 県内推進校の視察
- ・加賀市との連携

### 「タブレット・AIドリル」

活用推進プロジェクト (授業・家庭学習・不登校児童生 徒支援)

<u>目標:児童生徒が、タブレット</u> を文房具として活用できるよう にする。

- •学力向上推進教諭
- ·ICT情報担当教諭
- •生徒指導担当教諭
- •教育相談担当教諭
- •学校教育課
- ·ICT支援員責任者

- ・授業での活用
- ・家庭学習での活用
- 不登校児童生徒への活用
- 各学校の上記取組の 共有
- ・学年別に取組資料を 村内共有フォルダに まとめる

- ・授業での活用
- ・家庭学習での活用
- 不登校児童生徒への活用
- 各学校の上記取組の 共有
- ·学年別取組資料の 更新·活用

- ・授業での活用
- ・家庭学習での活用
- 不登校児童生徒への活用
- 各学校の上記取組の 共有
- 学年別取組資料の 更新・活用

# 「協働」プロジェクト

#対話的な学び

とができる学校・学級づくりを推進する。

#協働的な学び

•学校教育課

#自治的活動

•学級活動の充実

#心理的安全性

・学級活動の充実

・学級活動の充実

	11 1/3/3 12 /3 3 3			
プロジェクト目標	<b>メンバー</b> <u>校務分掌で位置づけ</u>	(はじめ) R6	の一歩 トラ <u>R7</u>	イ&エラー <u>R8</u>
「児童会・生徒会活動」 推進プロジェクト 目標:児童生徒が魅力ある学校づくり に参画し、自治的な活動を展開する。	·児童会·生徒会担当 ・学校教育課 ・社会教育課	・各校取組の共有 ・村内共有フォル ダに取組資料をま とめる	<ul><li>・恩納村共通実践 プランの作成</li><li>・取組資料の更新・ 活用</li></ul>	<ul><li>・恩納村共通実践 プランの実践</li><li>・取組資料の更 新・活用</li></ul>
「体験活動」 推進プロジェクト 目標:小・中学校の体験活動の系統 化を図り、児童生徒の非認知能力育成 に寄与する。	•教務主任 •特別活動担当 •社会教育課 •学校教育課	<ul><li>・各学校の活動内容と社会教育課事業の確認・調整</li><li>・各活動の目的、対象学年見直し</li></ul>	<ul><li>・恩納村体験活動 プランの作成</li><li>・各活動の目的、 対象学年の見直し</li></ul>	・恩納村体験活動 プランに基づく実 践推進
「支持的風土・心理的安全」 推進プロジェクト 目標:自分の考えを不安無く伝えるこ	<ul><li>生徒指導担当教諭</li><li>特別活動担当教諭</li><li>教育相談担当教諭</li><li>道徳担当教諭</li></ul>	<ul><li>・相手のことを大切に「聴く」指導</li><li>・承認、勇気づけの共通実践</li></ul>	<ul><li>・相手のことを大切に「聴く」指導</li><li>・承認、勇気づけの共通実践</li></ul>	・相手のことを大 切に「聴く」指導 ・承認、勇気づけ の共通実践

### 「創造」プロジェクト

#深い学び

#SDGs

#STEAM

#プログラミング

#教科横断

### プロジェクト目標

#### **メンバー** 校務分掌に位置づけ

M

#### はじめの一歩トライ&エラー

<u>R6</u>

R7

R8

•全小中学校「恩

納村STEAM教育

### 「STEAM教育」 推進プロジェクト

目標:「恩納村STEAM教育プラン」 を作成し、小中学校の系統的な実践 を展開する。

- •教務主任
- •理科•数学担当教諭
- ·琉球大学 ·OIST
- •学校教育課
- •社会教育課

- ·国内推進自治体・ 学校の取組の共有
- ・「SDGs」「プログラミング」プロジェクトとの合同研修
- ■「恩納村STEAM教育プラン」の作成
- ・全教職員への共有・各学校の実践共有
  - 「|プラン」に基づく実 「|践

### [SDGs]

推進プロジェクト

目標:「恩納村STEAM教育プラン」 の、SDGs関連計画を作成し、小中学 校の系統的な実践を展開する。

- ・総合的な学習担当
- •学校教育課
- •社会教育課
- •企画課、関係課
- •関係企業

- ·各学校のSDGs関連学習の共有
- ・小中学校の系統的 な学習計画の作成
- -「創造」合同研修
- ・「恩納村STEAM教 育プラン」の作成
- ・全教職員への共有
- •各学校の実践共有

•「恩納村STEAM教

・全小中学校「恩納村STEAM教育プラン」に基づく実践

•全小中学校「恩

### 「プログラミング教育」 推進プロジェクト

目標:「恩納村STEAM教育プラン」 の、プログラミング教育計画を作成し、 小中学校の系統的な実践を展開する。

- •ICT情報担当教諭
- ·ICT支援員責任者
- •学校教育課
- •名桜大学
- •関係企業

- ・小中学校の系統的な学習計画の作成
- ・ICT支援員との連携
- •各学校の取組共有

•「創造」合同研修

・全教職員への共有・各学校の実践共有

育プラン」の作成

│納村STEAM教育 | プラン」に基づく実 | 践

# 「つながり」プロジェクト

#保・幼・小連携

#小・中接続

#コミュニティ・スクール

#誰一人取り残されない

### プロジェクト目標

#### **メンバー** 校務分掌に位置づけ



### はじめの一歩トライ&エラー

**R6** 

<u>R7</u>

R8

#### 「保・幼・小連携幼児教育」 推進プロジェクト

<u>目標:関係機関・者が連携し、幼</u> 児教育の充実、円滑なこども園移 行を推進する。

- •小学校校長
- •1年担任
- 幼児教育施設関係者
- •福祉課
- •学校教育課

- •合同研修会
- •公開保育
- •保•幼•小連携協議会
- •先進自治体視察
- •中頭教育課程発表
- ・「恩納村幼児教育プラン」作成
- •合同研修会
- •公開保育
- •保•幼•小連携協議会

- ・こども園移行
- •合同研修会
- •公開保育
- •保•幼•小連携協議会

#### 「コミュニティ・スクール」 推進プロジェクト

<u>目標:「コミュニティ・スクール」の取組</u> を推進し、「連携・協働」体制を構築する。

- •各学校管理職
- •地域連携担当教諭
- •学校教育課
- •社会教育課

- ・モデル校(山田小学 校)による推進、情報 共有
- •合同研修会

- ・全校による推進
- •合同研修会

- ・全校による推進
- •合同研修会

#### 「誰一人取り残されない」

プロジェクト(不登校・特支・日 本語・性教育 等)

<u>目標:全ての児童生徒の「つなが</u> り・学習・心と体の発達」を保障する。

- •各学校管理職
- •養護教諭
- ·特別支援教育CD
- •教育相談担当
- •日本語教育担当
- •学校教育課

- 支援の必要な児童 生徒の共有
- ·「校内自立支援室」 事業(予定)
- •日本語初期指導教室
- ・性教育の充実

- 支援の必要な児童 生徒の共有
- ·「校内自立支援室」 事業(予定)
- •日本語初期指導教室
- ・性教育の充実

- 支援の必要な児童生徒の共有
- ·「校内自立支援室」 事業(予定)
- •日本語初期指導教室
- •性教育の充実



